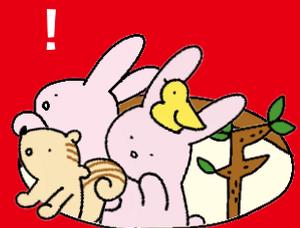


はじまりは、  
たったひとりの  
声でした。



これまでのフローレンスと、  
これからのフローレンスを  
もっと知ってもらうための本。

**VISION BOOK**

子どもが熱を出す。  
 そんなあたりまえのことが  
 仕事を失う理由になる時代に  
 フローレンスは生まれました。  
 「助けて」  
 一人ひとりの声は小さく  
 声をあげられない人も、います。  
 「もう、だいじょうぶ」  
 重ねてきた解決は、  
 同じ思いの仲間たちと、  
 ともに歩んできた軌跡でもあります。

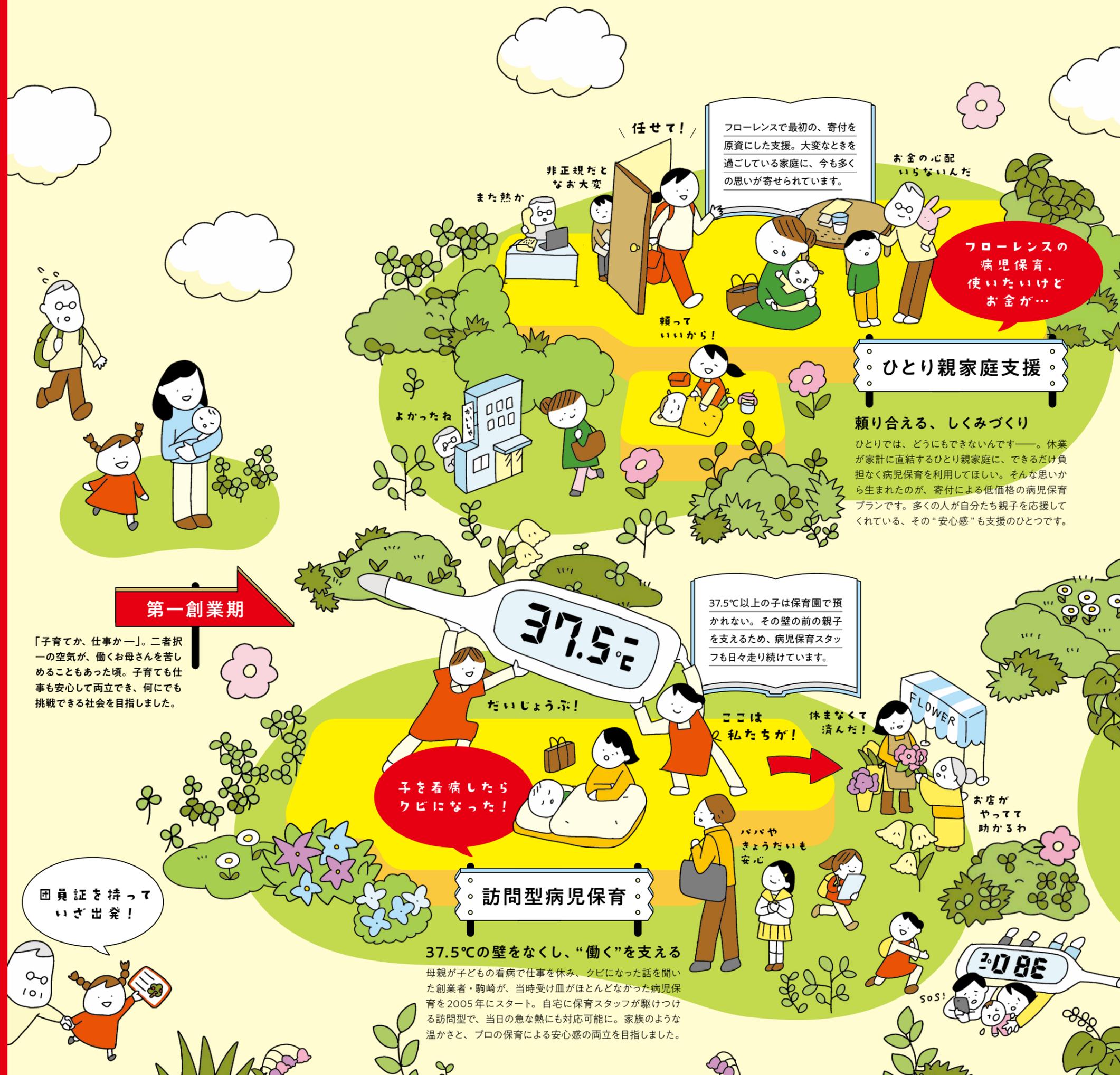
「新しいあたりまえ」は  
 誰かがつくるものじゃない。  
 一人ひとりがつくれるんだ。  
 それが、フローレンスの原点です。

キリトリ

こどものみらい開拓団員証

名前

こんな社会にしたい



第一創業期

「子育てか、仕事か」。二者択一の空気が、働くお母さんを苦しめることもあった頃。子育ても仕事も安心して両立でき、何にでも挑戦できる社会を目指しました。

フローレンスで最初の、寄付を原資にした支援。大変なときを過ごしている家庭に、今も多くのお金が寄せられています。

お金の心配  
いらないんだ

フローレンスの  
病児保育、  
使いたけれど  
お金が...

ひとり親家庭支援

頼り合える、しくみづくり  
 ひとりでは、どうにもできないんです。休業が家計に直結するひとり親家庭に、できるだけ負担なく病児保育を利用してほしい。そんな思いから生まれたのが、寄付による低価格の病児保育プランです。多くの人が自分たち親子を応援してくれている、その“安心感”も支援のひとつです。

37.5℃以上の子は保育園で預かれない。その壁の前の親子を支えるため、病児保育スタッフも日々走り続けています。

子を看病したらクビになった!

訪問型病児保育

37.5℃の壁をなくし、“働く”を支える  
 母親が子どもの看病で仕事を休み、クビになった話を聞いた創業者・駒崎が、当時受け皿がほとんどなかった病児保育を2005年にスタート。自宅に保育スタッフが駆けつける訪問型で、当日の急な熱にも対応可能に。家族のような温かさ、プロの保育による安心感の両立を目指しました。

団員証を持って  
いざ出発!

ここは  
私たちが!

休まなくて  
済んだ!

お店が  
やって  
助かるわ

パパや  
きょうだいも  
安心

30.8℃

sos!

New Vision  
めざすもの

# 今を生きるわたしたちと まだ見ぬ子どもたちが 希望と手をつないで歩める社会。

## さあ、心躍る未来へ。

未来の子どもたちに、どんな社会を渡したいですか？  
子どもや子育てをとりまく苦しい状況を、  
変えるスイッチは、「今」です。  
むずかしい顔をして練る戦略も大事だけれど、  
仲間と手を取り合って、  
ワクワクしながら進みつづける。  
そんな私たちがやりたいのです。

2023年現在は待機児童問題が解決しつつあるなか、「無園児」の孤立解消など保育圏を軸にした課題解決にも取り組んでいます。

**認可保育園運営**

保育園落ちた！ 仕事に戻れない

おうち保育園 きっかけ！

待機児童になっちゃった

満足

**深刻な待機児童問題にすばやく対応**  
保育園不足が社会問題になるなか、フローレンスでもスタッフが職場復帰できない出来事から生まれた「おうち保育園」を作れないか？と試行錯誤から生まれたのが「おうち保育園」です。このアイデアは「小規模認可保育所」として国政化され、全国約5,000園に拡大。課題解決の一翼を担いました。

**障害児家庭支援**

障害があっても子どもに保育を

医療的ケアができるのは専門職と家族だけ。看護と保育の力で、孤立しがちな家族への支援も目指しています。

みんな支え合える！

お預かりできます！

家族も社会とつながれる！

**障害児家庭を保育とケアで支える**  
「医療的ケアの必要な子どもが通える保育園が、どこにもありません」。フローレンスに届いた母親の声から、障害児家庭支援が始まりました。「自宅で母親がケアするもの」があたりまえだったなか、日本で初めて専門的に医療的ケア児を長時間預かる保育を実現。以来、親子の選択肢と可能性を広げる支援を展開しています。

**仙台から親子と一緒に復興を**

東京に避難してきた妊婦さんの受け入れや、被災の影響を受けた学生への学習サポートなど支援活動をいち早く開始。復興だけでなく、仙台市の保育園・医療的ケア児支援の不足を受けて仙台に拠点を置き、今では地域にひらいた新しい保育園のかたちにも挑戦し、全国に発信しています。

**被災地支援**

東日本大震災 親子の支援が足りない

**第二創業期**

子どもが貧困や虐待、親子の孤立など複雑に絡みあう社会課題。2015年からは、保育にとどまらず、幅広い福祉支援を展開していきます。親子の笑顔をつくるため、活動は国内の子育てに関わる全域へ。

今日も来た！

子ども宅食です！

一度きりでなく、長くそばに。さまざまな人・団体・企業などの思いのリレーがかたちになった支援です。

誰かに相談できれば、変わる未来がある。行政や周囲に相談しづらい人にもSNSは大切なツールになります。

困りごと聞かせて

地域に繋がります！

ひとりぽつな

ひとりぽつな寂れた

地域をサポートとつながれない

**前出・伴走型の家庭支援**

孤立する親子とつながり、つなげる

経済的、社会的に孤立し、誰にも助けを求められない親子がいる——。活動のなかでそんな状況を知り、自宅に定期的に無料で食品を届ける「子ども宅食」を始動。生活を支える食をきっかけに親子とつながり、そこから行政や地域の支援につなげることも可能に。他団体とも連携し、この活動は全国100ヶ所以上に広がっています。

**ハイブリッドソーシャルワーク**

デジタルとリアルを組み合わせる

2021年、「子ども宅食」から、オンラインを活用した新しい支援のかたちが誕生。家庭と相談員がSNSなどでつながり、安心して困りごとを相談できる関係を築いて、必要な情報や地域の直接的な支援へつなげます。現在は全国6,000世帯以上の親子に、日々伴走しています。

**医療局の創設**

医療×福祉×保育で総合支援が可能に

2023年度からは新たに医療局を設け、グループ法人の小児科との連携を強化。医療の現場から見える課題解決提案できる団体へパワーアップ。ひとり親支援やソーシャルアクション、心の相談など、あらゆる面でフローレンスと医療がタッグを組んで、親子の健やかな心身のため、サポートをしています。

医療の場からも親子を支えたい

みんな育てたいよね

**にんしん相談・赤ちゃん縁組**

赤ちゃんや妊婦さんにとっていちばん良い選択肢を選ぶよう、相談員が寄り添っています。

ひとりぽつな寂れない

子期しない妊娠 どうにもできない

幸せな人生に、みんなでつなげる

繰り返される赤ちゃんの遺棄・虐待を防ぐため、悩みを抱えた妊婦さんと電話やLINEでつながる相談支援を実践。育てられない事情があり、委託を希望する場合は育ての親に託す特別養子縁組の事業を始めました。子ども、生みの親、育ての親の三者が幸せになり、社会で赤ちゃんを育てていくことを目指しています。

**ソーシャルアクション・政策提言**

皆さんとともに新しいあたりまえをつくる

親子の声に応じて多くの支援現場で奔走する一方で、課題の根本的な解決を目指して、社会のしくみを変えることにも挑戦。現実合わない制度やルールを変える政策提言とともに、親子の笑顔を生み出す空気感を変え、新しい価値観や文化を生み出すソーシャルアクションにも取り組んでいます。

困っている原因から変えよう！

**医療局の創設**

医療×福祉×保育で総合支援が可能に

2023年度からは新たに医療局を設け、グループ法人の小児科との連携を強化。医療の現場から見える課題解決提案できる団体へパワーアップ。ひとり親支援やソーシャルアクション、心の相談など、あらゆる面でフローレンスと医療がタッグを組んで、親子の健やかな心身のため、サポートをしています。

医療の場からも親子を支えたい

みんな育てたいよね

**前出・伴走型の家庭支援**

孤立する親子とつながり、つなげる

経済的、社会的に孤立し、誰にも助けを求められない親子がいる——。活動のなかでそんな状況を知り、自宅に定期的に無料で食品を届ける「子ども宅食」を始動。生活を支える食をきっかけに親子とつながり、そこから行政や地域の支援につなげることも可能に。他団体とも連携し、この活動は全国100ヶ所以上に広がっています。

**ハイブリッドソーシャルワーク**

デジタルとリアルを組み合わせる

2021年、「子ども宅食」から、オンラインを活用した新しい支援のかたちが誕生。家庭と相談員がSNSなどでつながり、安心して困りごとを相談できる関係を築いて、必要な情報や地域の直接的な支援へつなげます。現在は全国6,000世帯以上の親子に、日々伴走しています。

**医療局の創設**

医療×福祉×保育で総合支援が可能に

2023年度からは新たに医療局を設け、グループ法人の小児科との連携を強化。医療の現場から見える課題解決提案できる団体へパワーアップ。ひとり親支援やソーシャルアクション、心の相談など、あらゆる面でフローレンスと医療がタッグを組んで、親子の健やかな心身のため、サポートをしています。

医療の場からも親子を支えたい

みんな育てたいよね

**医療局の創設**

医療×福祉×保育で総合支援が可能に

2023年度からは新たに医療局を設け、グループ法人の小児科との連携を強化。医療の現場から見える課題解決提案できる団体へパワーアップ。ひとり親支援やソーシャルアクション、心の相談など、あらゆる面でフローレンスと医療がタッグを組んで、親子の健やかな心身のため、サポートをしています。

医療の場からも親子を支えたい

みんな育てたいよね

**前出・伴走型の家庭支援**

孤立する親子とつながり、つなげる

経済的、社会的に孤立し、誰にも助けを求められない親子がいる——。活動のなかでそんな状況を知り、自宅に定期的に無料で食品を届ける「子ども宅食」を始動。生活を支える食をきっかけに親子とつながり、そこから行政や地域の支援につなげることも可能に。他団体とも連携し、この活動は全国100ヶ所以上に広がっています。

**ハイブリッドソーシャルワーク**

デジタルとリアルを組み合わせる

2021年、「子ども宅食」から、オンラインを活用した新しい支援のかたちが誕生。家庭と相談員がSNSなどでつながり、安心して困りごとを相談できる関係を築いて、必要な情報や地域の直接的な支援へつなげます。現在は全国6,000世帯以上の親子に、日々伴走しています。

**医療局の創設**

医療×福祉×保育で総合支援が可能に

2023年度からは新たに医療局を設け、グループ法人の小児科との連携を強化。医療の現場から見える課題解決提案できる団体へパワーアップ。ひとり親支援やソーシャルアクション、心の相談など、あらゆる面でフローレンスと医療がタッグを組んで、親子の健やかな心身のため、サポートをしています。

医療の場からも親子を支えたい

みんな育てたいよね

**医療局の創設**

医療×福祉×保育で総合支援が可能に

2023年度からは新たに医療局を設け、グループ法人の小児科との連携を強化。医療の現場から見える課題解決提案できる団体へパワーアップ。ひとり親支援やソーシャルアクション、心の相談など、あらゆる面でフローレンスと医療がタッグを組んで、親子の健やかな心身のため、サポートをしています。

医療の場からも親子を支えたい

みんな育てたいよね

**前出・伴走型の家庭支援**

孤立する親子とつながり、つなげる

経済的、社会的に孤立し、誰にも助けを求められない親子がいる——。活動のなかでそんな状況を知り、自宅に定期的に無料で食品を届ける「子ども宅食」を始動。生活を支える食をきっかけに親子とつながり、そこから行政や地域の支援につなげることも可能に。他団体とも連携し、この活動は全国100ヶ所以上に広がっています。

**ハイブリッドソーシャルワーク**

デジタルとリアルを組み合わせる

2021年、「子ども宅食」から、オンラインを活用した新しい支援のかたちが誕生。家庭と相談員がSNSなどでつながり、安心して困りごとを相談できる関係を築いて、必要な情報や地域の直接的な支援へつなげます。現在は全国6,000世帯以上の親子に、日々伴走しています。

**医療局の創設**

医療×福祉×保育で総合支援が可能に

2023年度からは新たに医療局を設け、グループ法人の小児科との連携を強化。医療の現場から見える課題解決提案できる団体へパワーアップ。ひとり親支援やソーシャルアクション、心の相談など、あらゆる面でフローレンスと医療がタッグを組んで、親子の健やかな心身のため、サポートをしています。

医療の場からも親子を支えたい

みんな育てたいよね

**医療局の創設**

医療×福祉×保育で総合支援が可能に

2023年度からは新たに医療局を設け、グループ法人の小児科との連携を強化。医療の現場から見える課題解決提案できる団体へパワーアップ。ひとり親支援やソーシャルアクション、心の相談など、あらゆる面でフローレンスと医療がタッグを組んで、親子の健やかな心身のため、サポートをしています。

医療の場からも親子を支えたい

みんな育てたいよね

**前出・伴走型の家庭支援**

孤立する親子とつながり、つなげる

経済的、社会的に孤立し、誰にも助けを求められない親子がいる——。活動のなかでそんな状況を知り、自宅に定期的に無料で食品を届ける「子ども宅食」を始動。生活を支える食をきっかけに親子とつながり、そこから行政や地域の支援につなげることも可能に。他団体とも連携し、この活動は全国100ヶ所以上に広がっています。

**ハイブリッドソーシャルワーク**

デジタルとリアルを組み合わせる

2021年、「子ども宅食」から、オンラインを活用した新しい支援のかたちが誕生。家庭と相談員がSNSなどでつながり、安心して困りごとを相談できる関係を築いて、必要な情報や地域の直接的な支援へつなげます。現在は全国6,000世帯以上の親子に、日々伴走しています。

**医療局の創設**

医療×福祉×保育で総合支援が可能に

2023年度からは新たに医療局を設け、グループ法人の小児科との連携を強化。医療の現場から見える課題解決提案できる団体へパワーアップ。ひとり親支援やソーシャルアクション、心の相談など、あらゆる面でフローレンスと医療がタッグを組んで、親子の健やかな心身のため、サポートをしています。

医療の場からも親子を支えたい

みんな育てたいよね

**医療局の創設**

医療×福祉×保育で総合支援が可能に

2023年度からは新たに医療局を設け、グループ法人の小児科との連携を強化。医療の現場から見える課題解決提案できる団体へパワーアップ。ひとり親支援やソーシャルアクション、心の相談など、あらゆる面でフローレンスと医療がタッグを組んで、親子の健やかな心身のため、サポートをしています。

医療の場からも親子を支えたい

みんな育てたいよね

**前出・伴走型の家庭支援**

孤立する親子とつながり、つなげる

経済的、社会的に孤立し、誰にも助けを求められない親子がいる——。活動のなかでそんな状況を知り、自宅に定期的に無料で食品を届ける「子ども宅食」を始動。生活を支える食をきっかけに親子とつながり、そこから行政や地域の支援につなげることも可能に。他団体とも連携し、この活動は全国100ヶ所以上に広がっています。

**ハイブリッドソーシャルワーク**

デジタルとリアルを組み合わせる

2021年、「子ども宅食」から、オンラインを活用した新しい支援のかたちが誕生。家庭と相談員がSNSなどでつながり、安心して困りごとを相談できる関係を築いて、必要な情報や地域の直接的な支援へつなげます。現在は全国6,000世帯以上の親子に、日々伴走しています。

**医療局の創設**

医療×福祉×保育で総合支援が可能に

2023年度からは新たに医療局を設け、グループ法人の小児科との連携を強化。医療の現場から見える課題解決提案できる団体へパワーアップ。ひとり親支援やソーシャルアクション、心の相談など、あらゆる面でフローレンスと医療がタッグを組んで、親子の健やかな心身のため、サポートをしています。

医療の場からも親子を支えたい

みんな育てたいよね

**医療局の創設**

医療×福祉×保育で総合支援が可能に

2023年度からは新たに医療局を設け、グループ法人の小児科との連携を強化。医療の現場から見える課題解決提案できる団体へパワーアップ。ひとり親支援やソーシャルアクション、心の相談など、あらゆる面でフローレンスと医療がタッグを組んで、親子の健やかな心身のため、サポートをしています。

医療の場からも親子を支えたい

みんな育てたいよね

# 事業をつくり、しくみを変え、文化を生み出し、ともに「新しいあたりまえ」を未来に手渡そう。

親子の困りごとによって事業で寄り添う。制度やしくみを変える。それを「あたりまえ」にする。この3つの輪を回転させれば、社会は確実に変わっていきます。

2023年、フローレンスは第三創業期へ。  
新しいミッションが、始まります！

希望をもって子育てをしたい

医療の場からも親子を支えたい

みんな育てたいよね

地域をサポートとつながれない

ひとりぽつな寂れた

ひとりぽつな寂れない

ひとりぽつな寂れない

東日本大震災 親子の支援が足りない

親子の笑顔をつくり、さまざまな事業を生でできた仙台支社は、今は挑戦の拠点にもなっています。

できること、もっとあるかも

障害があっても子どもに保育を

2023年現在は待機児童問題が解決しつつあるなか、「無園児」の孤立解消など保育圏を軸にした課題解決にも取り組んでいます。

未来の子どもたちに、どんな社会を渡したいですか？  
子どもや子育てをとりまく苦しい状況を、  
変えるスイッチは、「今」です。  
むずかしい顔をして練る戦略も大事だけれど、  
仲間と手を取り合って、  
ワクワクしながら進みつづける。  
そんな私たちがやりたいのです。

わたしたちは、  
こどものみらい開拓団。  
子どもたちが希望と手をつないで  
歩める社会をつくるため  
同じ思いを抱く皆さんとともに、  
まだ見ぬ地を目指しつづけます。

社会みんなで子どもを育て、  
親子の笑顔を咲かせるために。

こども達のために、日本を変える  
**Florence**

認定NPO法人フローレンス  
〒101-0051  
東京都千代田区神田神保町1丁目14番地1  
KDX 神保町ビル3F

